

## 1 学校教育目標

- ・かしこい子（子どもが主役となり、学ぶ喜びを実感できる学校）
- ・思いやりのある子（誰もが居心地のよい安心安全な学校）
- ・たくましい子（自分で考え行動し、チャレンジする学校）

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべては、子どもたちの「今」と「未来」の幸せのために（教育理念）</li> <li>・「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる本木小」（キャッチフレーズ、合言葉）</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も人も大切にする子（自己肯定感、コミュニケーション能力）</li> <li>・自分の言葉で表現する子（表現力）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考え行動する子（主体性）</li> <li>・チャレンジする子（向上心、忍耐力）</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の模範となる教師（時を守り、場を清め、礼を正す）</li> <li>・組織で協働して働く教師（目標達成のために共通理解・共通実践）</li> <li>・保護者・地域から信頼される教師（笑顔とあいさつ、迅速で丁寧な対応）</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- ・児童は明るく素直である。あいさつも気持ちよくできる子が多い。落ち着いた中にも活気のある姿が多く見られるが、自尊感情が低い傾向がある。
- ・教職員は、若手教員が多い中、よりよい学校を創っていこうと日々一生懸命努力しており、授業力の向上にも力を注いでいる。
- ・保護者・地域も学校に期待を寄せており、教育活動に協力的である。生活習慣や家庭学習などの定着に向けて、さらに連携を深めていく。

### 【前年度の成果】

- ・「人権教育推進」に関するアンケートでは、児童・保護者ともに90%を超える肯定的評価を得ることができた。今年度は東京都教育委員会人権尊重教育推進校として11月に研究発表会を開催する。
- ・「学習規律や生活規律の徹底」については、児童・保護者ともに90%を超える肯定的評価を得ることができた。「本木5つの約束（学習・生活）」とともに、「あいさつ名人」と「聞き方名人」の取組を徹底させていく。
- ・「情報の発信」については、保護者・地域から99%の肯定的な評価を得ることができた。200回以上更新した校長ブログは、学校の考えや児童の様子を伝える上で大変効果的であったので今後も継続していく。

### 【前年度の課題】

- ・国語や算数を中心とした「基礎学力の定着」が課題である。授業力のさらなる改善とともに、朝学習の計算コンクールや放課後学習のぐんぐんタイム、九九検定チャレンジ、AIドリル強化週間の取組等により、基礎学力の定着を図る。
- ・特別支援教育と教育相談のさらなる充実を図っていく。学校全体で、「授業・教室環境・人的環境のユニバーサルデザイン化」を推進し、誰もが居心地のよい集団づくりを行う。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン 確かな学力の定着	◎	◎	◎	◎	◎
2	思いやりのある子の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	たくましい子の育成	○	○	○	○	○

## 5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン 確かな学力の定着							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)		コメント・課題			達成度 ◎○△●	
子どもが主役となり、学ぶ喜びを実感できる授業の実現		2教科とも通過率75%以上	通過率72.7% (国語74.1% 算数71.4%)		算数の定着に差があるので「各学年の重点指導領域」を明確にしていく。			○	
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年 全教科	通年	①講師招聘の校内研究授業 ②板書型指導案を活用した校内公開授業(足立スタンダード虎の巻を基にして) ③OJT研修(全体…一斉型のミニ研修、グループ…お互いの授業を見合う) ④教科担任制及び一部授業交換制	①研究授業8回実施 ②校内公開授業1人2回以上 ③全体研修は10回以上、グループ研修は3回以上実施 ④全学年で実施	・校内単元テスト(国語・算数)平均正答率85%以上 ・区調査予備調査通過率75%以上	・校内単元テスト(国語・算数)平均正答率74.3% ・区調査予備調査通過率72.7%	・単元テストは、学年での算数の差がかなりあった。学年ごとに課題を更に細分化する必要がある。	○

2 継続	基礎学力の 定着	全学年 全教科	通年	①区学力調査の分析 ②朝学習 (計算コンクール、視写) ③ぐんぐんタイム (放課後学習) ④九九検定チャレンジ ⑤AIドリルを基礎学力の 定着のため有効活用 する(授業、家庭学習)	①SP表等を活用 して全教員で 実施 ②計算コンクール は毎月実施、 視写は毎週 火曜日実施 ③年間各学年 35回以上実施 ④担任テストの 後、校長テスト を実施 ⑤取組の記録	・校内単元テスト (国語・算数) 平均正答率 85%以上 ・区調査予備調査 通過率 75%以上	・校内単元テスト (国語・算数) 平均正答率 74.3% ・区調査予備調査 通過率 72.7%	・区学力調査の結果 から、全学年 の共通課題と各 学年の重点指導 領域を明確にし て取り組んだこ とが効果的であ った。	○
---------	-------------	------------	----	--	--	---	---	---	---

### 重点的な取組事項－2

思いやりのある子の育成

A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
誰もが居心地のよい安心安全な学校の 実現		自己肯定感の向上(前年度等の比較)	・学校全体の学級生活満足群は、 全国平均値を上回った。	・可視化して認める機 会を増やしたことが 効果的であった。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
①人権教育の取組	・研究授業8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重教育推進校発表会 に向けて、研究授業の充実</li> <li>・人権集会(年5回)、人権の 花運動、人権メッセージ、 人権ポスター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業8回実施達成</li> <li>・人権集会(年5回)、人権の花運 動、人権メッセージ、人権ポス ターも実施達成</li> </ul>	・児童の自己肯定感の 高まりが認められ た。	◎
②特別支援教育、 教育相談の充実	・保護者アンケート(心 を豊かにする指導)よ り、90%以上が肯定 的 回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内委員会での情報共有と 改善確認(毎週火曜日)</li> <li>・生活指導夕会での情報共有 と改善周知(毎週木曜日)</li> <li>・特別支援教育に関する教員 の専門性向上</li> <li>・ユニバーサルデザインの推 進(学校全体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内委員会や生活指導夕会を計 画的に実施して情報共有と改善 策を確認した。</li> <li>・保護者アンケート(心を豊かに する指導)より、90%以上の 肯定的回答を得ることができ た。</li> </ul>	・校内委員会で得られ た児童の情報が确实 に翌週の生活指導夕 会で共有され、細や かな対応に結びつい ている。	○

③本木・本気プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で1本以上</li> <li>・発表の場を設定 (互いの活動を伝え合い、認め合い、高め合う)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が一体となつての取組</li> <li>・取組を発表する場の設定 (児童自らが、学校生活をよりよくしていると実感できるような取組とする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に、各学年の取組が発表され、児童の自己肯定感や達成感につながったことを実感することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容を可視化したことで、主体性や意欲の向上につながった。</li> </ul>	○
④自己肯定感の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート(自己肯定感の向上)により、90%以上が肯定的回答</li> <li>・年4回以上の「俳句創作」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析と改善計画</li> <li>・年4回、季節毎に創作し、感性・語彙力を磨き、豊かな心を育む(コンクール等にも参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年2回実施。学校全体の学級生活満足度は、全国平均値を上回った。</li> <li>・年4回の俳句創作実施達成俳句創作において、意欲的に取り組む児童が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良さや頑張りを可視化して認める機会を増やしたことが効果的であった。</li> </ul>	○

**重点的な取組事項－3**      たくましい子の育成

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
規則正しい生活と体力・運動機能の向上	R6年度以前と比較し、R7年度に改善あり	・経年変化で改善傾向あり	・全校での取組効果高	○

**B 目標実現に向けた取組み**

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
①規律正しい学校生活の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートにより、90%以上が肯定的回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なアンケート実施(年3回以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートにより、90%以上が肯定的回答をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本木小スマイルスタンダードを掲げ、全校できまりを焦点化して取り組んだことが効果的であった。</li> </ul>	◎
②健康・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の体育の授業で課題を解決するための運動の実施と運動量の確保</li> <li>・都や本校の体力調査の記録等と比較した上で平均値の上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力アップ記録カード」を活用して実施</li> <li>・研修にて、教員が課題(柔軟性・持久力・投力)改善のための運動を習得し、授業で継続的な取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルランとソフトボール投げは、ほとんどの学年で記録が向上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持久力向上のための取組「本木ランラン」が効果を発揮した。</li> </ul>	○

③保健指導・食育指導の充実	・生活習慣アンケートをとり、R5年度と比較し改善	・「生活リズムカード」等の実施 ・養護教諭や栄養士と連携した保健指導や食育指導の充実 ・保護者会や各種便り等を活用し、保護者への啓発	・生活習慣を確認するためのアンケートをとり、児童に指導したり、保護者に家庭での過ごし方の提起を行ったりすることで、健康への意識を高めていくことができた。	・情報の発信では、95%超の肯定的回答を得た。様々なツールを活用して保護者への啓発をさらに行っていく。	○
---------------	--------------------------	--	--	---	---

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 【今年度の成果】

- ・都の人権尊重教育推進校発表会は、300名を超える参加があり、2年間の人権教育の取組を多くの方に還元することができた。参加者アンケートでは、95%を超える肯定的評価を得ることができた。
- ・「本木・本気プロジェクト（児童自らが学校をよりよくしていると実感できる取組）」を実施したことにより、「自主的な態度や愛校心」を育むことができた。取組を可視化したことも大変有効であった。
- ・区学力調査は、昨年度に比べて12.5ポイントも向上させることができた。

#### 【次年度に向けた課題及び解決の方向性】

- ・国語や算数を中心とした「基礎学力の定着」が課題である。授業力のさらなる改善とともに、朝学習の計算コンクールや放課後学習のぐんぐんタイム、九九検定チャレンジ、AIドリル強化週間の取組等により、基礎学力の定着を図る。
- ・DX化をさらに推進していく。オンラインツールを活用し、児童同士がやりとりする活動を週3回以上実施する。
- ・特別支援教育と教育相談のさらなる充実を図っていく。学校全体で、「授業・教室環境・人的環境のユニバーサルデザイン化」を推進し、誰もが居心地のよい集団づくりを行う。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

すべては、子どもたちの「今」と「未来」の幸せのために、今後も「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる本木小」をスローガンとして、教育活動を推進してまいります。

### (3) その他（学校教育活動全般について）

来年度、本木小は創立150周年を迎えます。150周年イヤーとして、150周年をお祝いする様々なイベントや活動を行います。ゲストティーチャーを呼んで特別授業をしてもらったり、全校でお祝いする集会を開いたりします。「本木小大好き、本木小でよかった」と、愛校心が高まるような1年にしていきたいと思っております。保護者・地域の皆様には、様々ご協力いただくこともあるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。